

## ミライ-S の受検を希望される患者さまの三重大病院外の主治医の先生へ

(ver.4.2)

ミライ-S (体細胞変異がんゲノムプロファイリング) 検査には、腫瘍成分を十分に含む病理組織材料 (パラフィンブロック: FFPE ブロック<sup>a)</sup>) と、対応する H&E 染色プレパラートの 2 点両方がともに必要です。つきましては、ご多忙の折大変恐縮でございますが、これら病理材料 2 点をご送付頂きたく存じます。送付頂きました病理組織材料より当院で核酸抽出を行い、抽出核酸の品質確認の後<sup>b)</sup>、本検査を行います。

ご郵送いただく 2 点：

- 1) 腫瘍成分を含むパラフィンブロック (FFPE ブロック)<sup>c-e)</sup>
- 2) 対応する H&E 染色プレパラート<sup>e)</sup>

送付先：

〒514-8507 津市江戸橋 2-174  
三重大学病院 中央検査部 遺伝子検査室

電話番号：

059-231-1111 (内線 5388)

- a) ホルマリン固定パラフィン包埋 (formalin-fixed, paraffin-embedded; FFPE) を行った病理組織検体で、一般的な病理業務で汎用される、染色プレパラート作成および保管用の検体です。貴院の病理検査部門にご相談下さい。
- b) 遺伝子パネル検査に先行して、抽出核酸に対して品質評価を行い、本検査が要求する品質に達しているかを判断します。低品質 (核酸の高度の断片化など) の場合は遺伝子パネル検査が行えない場合があることをご承知置き下さい。なお、品質評価結果の如何に関わらず、品質チェック費用が必要です。
- c) 手術により切除された組織は、摘出後 1 時間以内、遅くとも 3 時間以内に固定されている必要があります。固定は、10%中性緩衝ホルマリン溶液で 6~48 時間の固定が理想的です。マイクロウェーブ固定を行った標本は、高度の核酸断片化をきたすため本検査に不適切です。また、FFPE ブロック内の核酸は経年劣化することが明らかとなっており、作成から約 3 年以内が望ましいとされます。
- d) 腫瘍含有量が十分あり (細胞核占有率としておおよそ 20%以上)、非腫瘍性成分 (炎症性単核球等の浸潤) が少ない組織が必要です。腫瘍成分を有する FFPE ブロックが複数ある場合は、解析に適した FFPE ブロックを当院病理医が検鏡し選択しますので、H&E プレパラートとともに複数送付して頂いて構いません。当院で FFPE ブロックの選択後、手動的な非腫瘍部分の除去 (マニュアル・マイクロダイセクション) を当院病理医指示のもと病理技師が行います。切除・採取時期が異なる検体が複数存在する場合は、FFPE ブロック作成時期が最新の検体を第一選択として下さい。
- e) 当検査においては、可能な限り FFPE ブロックから再薄切した直後の材料から DNA を抽出することが望ましいとされますが、事情によっては未染標本 (5  $\mu$ m 厚、10 枚、薄切後 2 週間以内) でも対応いたします。
- e) 送付いただいた FFPE ブロック、および H&E 染色プレパラートは、本検査終了後返却致します。